cheero

cheero 耳元スピーカー

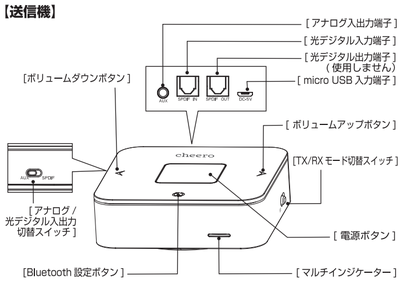
取扱説明書（操作編）

CHS-001

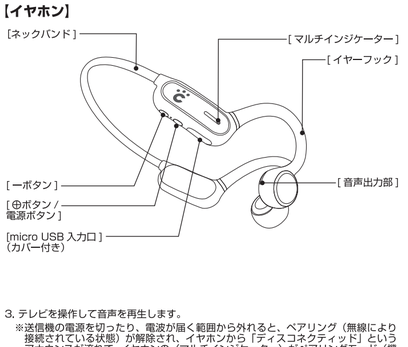
日本語版

■各部の名称

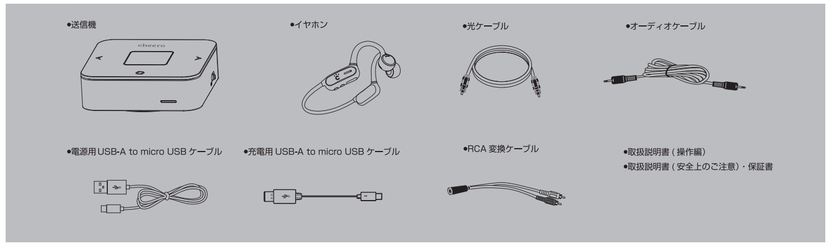
【送信機】



【イヤホン】



■内容物

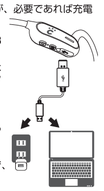


■使用方法

準備をする（イヤホンの充電）

イヤホンは充電式です。工場出荷時にある程度は充電されていますが、必要であれば充電します。

1. 付属の充電用ケーブルの micro USB 端子を本体の「micro USB 入力口」のカバーを開いて接続します。
2. 充電用ケーブルの USB-A 端子をパソコンに接続します。または充電用ケーブルを USB AC アダプタ（別売）に接続し、アダプタを家庭用コンセントに接続します。
3. マルチインジケーターが緑色に点灯し、充電が始まります。
   ※満充電になるとマルチインジケーターが白色に変わります。
   ※充電時間は約 1.5 時間です（初回充電時はさらに時間がかかる場合があります）。
4. 充電が完了しましたら充電用ケーブルを外します。
   ※長時間使用しないとバッテリーが自然放電して劣化しますので、３ヶ月に１度程度は本機への充電を行ってください。



送信機の設定を確認する

1. 〈TX/RX モード切替スイッチ〉が〈TX〉側になっていることを確認します。

2. 〈アナログ / 光デジタル入出力切替スイッチ〉が〈AUX〉側になっていることを確認します。

テレビと送信機を接続する

1. テレビのヘッドフォン端子と送信機のアナログ入出力端子とを付属のオーディオケーブルで接続します。

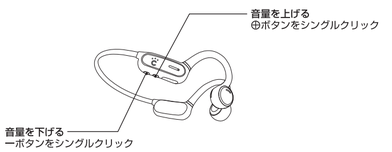
2. 送信機に、付属の電源用USBケーブルを接続し、反対側をテレビやパソコンのUSB端子に接続するか、あるいは別売のUSB ACアダプタに接続し、コンセントに接続します。

3. テレビを操作して音声を再生します。
   ※送信機の電源を切ったり、電波が届く範囲から外れると、ペアリング（無線により接続されている状態）が解除され、イヤホンから「ディスコネクティッド」というアナウンスが流れて、イヤホンの〈マルチインジケーター〉がペアリングモード（機器登録待機状態）を知らせる緑色と白色の交互点滅になります。
   ※送信機の電源を入れ直したり、電波が届く範囲に入ってもペアリングがうまく行われないときは送信機とイヤホン両方ともの電源を入れ直します。
   ※イヤホンのバッテリー残容量がなくなるとピコピコ音が 1 分間隔で流れ、マルチインジケーターが緑色に短く３回、５秒間隔で点滅しますので充電を行ってください。

テレビの音量操作

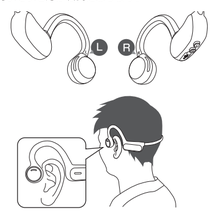
オーディオケーブルで接続している場合は、テレビのリモコンで音量のコントロールができますが、イヤホンの⊕ボタン、ーボタンでもコントロールが可能です。

一口メモ ボリュームは「テレビ」「送信機」「イヤホン」に付いています。最初は「テレビ」のボリュームだけを使って音量をコントロールし、「イヤホン」のボリュームは微調整に使用します。



イヤホンの装着方法

ネックバンドが頭の後ろを通るようにして、イヤホンの内側に記された R が右側、L が左側になるように装着します。
※操作ボタンが付いている方が右側になります。



実際に使ってみる

1. 送信機の〈電源ボタン〉を送信機の〈マルチインジケーター〉が赤色で点灯するまで 3 秒間長押しします。
   ※電源が入り、送信機の〈マルチインジケーター〉が緑色のゆっくりした点滅に変わります。

2. イヤホンの〈電源ボタン〉をイヤホンの〈マルチインジケーター〉が白色で点灯するまで 5 秒間長押しします。
   ※電源が入り、イヤホンの〈マルチインジケーター〉が緑色と白色の交互点滅に変わります。

このとき送信機に近づけると自動的に接続します。接続が完了するとイヤホンの<マルチインジケーター>は消えます。
※送信機の〈マルチインジケーター〉は緑色の点灯に変わります。

電源の切り方

1. 送信機の〈電源ボタン〉を〈マルチインジケーター〉が赤色に点灯するまで 3 秒間長押しします。
2. イヤホンの〈電源ボタン〉を〈マルチインジケーター〉が緑色に点灯するまで5秒間長押しします。

■その他の機能

ペアリングをやり直す

送信機とイヤホン両方ともの電源を入れ直してもうまくペアリングできないときは、ペアリングをやり直します。

ペアリングをリセットする

送信機の〈Bluetooth 設定ボタン ⏣ 〉を、〈マルチインジケーター〉が赤く 2 度点滅するまで 8 秒間長押しすると、ペアリングが解除されます。

※この状態でペアリングモードになり、〈マルチインジケーター〉が緑色の早い点滅に変わります。

※同時にイヤホンの〈マルチインジケーター〉の緑色と白色の交互点滅になります。

送信機とイヤホンを再ペアリングする

送信機の〈マルチインジケーター〉が緑色の早い点滅、イヤホンの〈マルチインジケーター〉が緑色と白色の交互点滅している間(約5分間)にイヤホンを送信機に近づけます。
※数秒から数十秒でペアリングが完了し送信機の〈マルチインジケーター〉が緑色で点灯し、イヤホンの < マルチインジケーター> が消灯します。

マルチインジケーターの動作について

送信機

緑色で点灯	イヤホンと接続されている状態
緑色でゆっくり点滅	イヤホンとの接続を試みている状態
緑色ではやく点滅	新しいペアリング相手を探している状態
青色で点灯あるいは点滅	受信機モードの状態

イヤホン

白色と緑色の交互点滅	送信機との接続を試みている状態
緑色で 3 回点滅	バッテリー残容量不足

■故障かな？と思ったら

ペアリングできない	送信機とイヤホンが離れすぎている →なるべく近づけてください。
	ペアリングに 30 秒ほどかかることがあります。
音が出ない	送信機の〈アナログ入出力端子〉にオーディオケーブルを接続しているのに〈アナログ／光デジタル入出力切替スイッチ〉が〈SPDIF〉になっている →〈アナログ / 光デジタル入出力切替スイッチ〉を〈AUX〉に切り替えてください。
	送信機の〈TX/RX モード切替スイッチ〉が〈RX〉になっている →〈TX/RX モード切替えスイッチ〉を〈TX〉に切り替え、電源を入れたときインジケーターが緑色になっていることを確認してください。
	イヤホンの音量がゼロあるいはゼロ付近になっている →〈⊕ボタン〉を押して適切な音量にまであげてください。
	送信機の音量がゼロあるいはゼロ付近になっている →〈ボリュームアップボタン 》〉を押して適切な音量にまであげてください。
	テレビのヘッドフォン端子と送信機をオーディオケーブルで接続しているが、ヘッドフォン出力の音量がゼロあるいはゼロ付近になっている →テレビのヘッドフォンボリュームを適切な量にまであげてください。
	テレビの音声出力端子と送信機をオーディオケーブルで接続しているが、音声出力端子が可変出力設定になっており、その出力量がゼロあるいはゼロ付近になっている →テレビの可変出力を適切な量にまであげるか、固定出力に変更してください。
思った以上に通信距離が短かったり音が途切れたりする	近くに 2.4GHz 帯の電波を発する無線機器や電子レンジなどの機器がある →それらの機器の使用をやめるか、機器から十分離れてください。
音がひずんだり ノイズが出る	送信機とイヤホンとの間に障害物がある →障害物を取り除いてください。
	近くに 2.4GHz 帯の電波を発する無線機器や電子レンジなどの機器がある →それらの機器の使用をやめるか、機器から十分離れてください。
	送信機とイヤホンとの距離が離れすぎている →送信機とイヤホンとの距離を縮めてください。

送信機

電源が入らない	内蔵バッテリーは搭載されていませんので、パソコンやテレビの USB 端子から電源をとるか、USB AC アダプタ（別売）に接続してください。
電源が勝手に切れる	イヤホンの電源を切ったときは 10 分、イヤホンが電波の届く範囲から外れたときは 20 分で自動的に電源が切れます。
誤って Bluetooth 設定ボタンを押してしまったら、マルチインジケーターがはやく点滅しだした	新しいペアリング相手を探している状態ですが、そのまま 10 分経過すると元の状態に戻ります。

イヤホン

電源が入らない	バッテリー残容量が不足している →充電してください。
電源が勝手に切れる	送信機の電源を切ったとき、10 分経過すると自動的に電源が切れます。

cheero

cheero 耳元スピーカー

取扱説明書（安全上のご注意）

CHS-001

日本語版

■安全上のご注意

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警 告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注 意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

●お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です。）

⚠ 注意すること	⃠ してはいけないこと	❗ 必ず行うこと

⚠ 危 険

■バッテリーについて
本機のイヤホン部にはリチウムポリマーバッテリーが内蔵されています。発熱、発火、液漏れ等を避けるため、以下の注意事項を必ず守ってください。

⃠ 異臭や発熱、ひずみ、変色などの異常に気づいたら使用を続けない 発熱や破裂、発火の原因となります。
⃠ 分解・改造しない 発熱や発火、感電の原因となります。
⃠ 火の中に入れたり、火のそばや炎天下などで充電したり、放置したりしない バッテリーの破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
⃠ 電解液が漏れている場合は使用を続けない 発熱や破裂、発火の原因となります。

⚠ 警 告

❗ 故障したまま使用しない。異常が起きたらすぐに電源を切る ●煙が出ている、変なにおいや音がする ●本機を落としてしまった ●本機内部に水が入ってしまった このような異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源を切って使用を中止してください。
⃠ 分解、改造しない 火災・感電の原因となります。
⃠ 長時間大きな音で使用しない 本機をご使用になる時は、音量を上げすぎないようにご注意ください。 耳を刺激するような大音量で長時間続けて使用すると、聴力が大きく損なわれるおそれがあります。
⃠ 自動車や機械類の運転操作中は使用しない 本機はオープンイヤー型で周囲の音は聞こえますが、運転操作中はもちろん、それ以外でも、周囲の音が聞こえないと危険な場所では、使用しないでください。
⃠ 小さなお子様の手の届くところで使用・保管しない ご使用後は小さなお子様の手の届かないところに保管してください。 感電やけがの原因となります。
⃠ 直接水をかけない 本機のイヤホン本体部は防まつ形（水のあらゆる方向からの飛まつによる有害な影響がない）です。 以下のことにはご注意ください。 ●風呂やプールなどに沈めない ●雨接水をかけない
⃠ 水蒸気や水のかかる所に置かない 本機の送信機部に水滴や液体が入った場合、火災・感電の原因となります。 ●風呂場や脱衣場など湿度の高い場所では使用しない ●調理台や加湿器のそばには置かない ●雨や雪などがかかるところで使用しない
⃠ micro USB 入力端子は定期的に掃除する micro USB 入力端子にほこりなどがたまっていると、火災の原因となります。電源用ケーブルを外し、乾いた布でほこりを取り除いてください。
⃠ 電解液が漏れた時は素手で液をさわらない 液漏れが発生した時には販売店あるいは当社ご相談窓口にご相談ください。液が目に入った時は失明の恐れがありますので、目をこすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、ただちに医師にご相談ください。液が体や衣服に付いた時は皮膚のけが・やけどの原因となるのでされいな水で洗い流したあと、ただちに医師にご相談ください。

■充電用および電源用 USB-A to microUSB ケーブルについて

⃠ ケーブルを傷つけない ●ケーブルの上に重い物をのせない ●傷つけたり、加工したりしない ●熱器具などに近づけない、加熱しない ケーブルが傷んだら（芯線の露出・断線など）使用を中止してください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
⃠ ケーブルを折り曲げて曲げたり、無理にねじったり、引っ張ったり、無理な力を加えない火災・内部の線材や端子が破損して火災・感電の原因となります。
⃠ 他の機器に電波障害などが発生した場合使用を中止する 電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となります。

■電波について

⃠ 心臓ペースメーカーを装着されている場合は使用しない 電波によりペースメーカーの動作に影響を与える原因となります。
⃠ 病院などの医療機関内、医療用機器の近くや、飛行機の中では使用しない 電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となります。
⃠ 他の機器に電波障害などが発生した場合使用を中止する 電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となります。

⚠ 注 意

⃠ 音量を上げすぎない 突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。始めから音量を上げ過ぎると、突然大きな音が出て耳を傷めることがあります。音量は少し小さう上げてご使用ください。
❗ 肌に合わない場合は使用を中止する イヤホンの肌に直接触れるハウジング部にはシリコンゴムが使われているため、人によってはアレルギー反応が出る可能性があります。
❗ 移動させる際はケーブル類をはずす 移動させる際は、安全のためケーブル類を抜いてから行ってください。端子が破損することがあります。
⃠ イヤーフックやネックバンドを無理に曲げない 変形して元に戻らなくなったり破損することがあります。
⃠ 0～45℃以外の場所で使用しない 故障や内蔵バッテリーが液もれ・発熱・破裂する原因となります。
❗ 発熱時は充電用ケーブルをはずしてしばらく放置する 発熱や発火の原因となります。
⃠ イヤホンにクレジットカード、通帳など、磁気を利用した製品を近づけない 磁気の影響でクレジットカードや通帳が使えなくなったり、データが消失することがあります。
⃠ ペットがいるところで使用・保管しない 感電やけがの、誤飲の原因となりますので、ご使用後はペットに触れられないところに保管してください。

■電波について
本機が使用する周波数帯（2.4GHz）では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、免許を要する工場の製造ラインで使用されている移動体識別用の構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局や免許を要するアマチュア無線局などが運用されています。他の機器との干渉を防止するために、次の点に十分ご注意いただきご使用ください。

⃠ 本機を使用する前に、近くで他の無線局が運用されていないことを確認してください。万一、本機から他の無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合、速やかに使用を停止してください。
⃠ すべての Bluetooth 機能対応製品とのワイヤレス通信を保証するものではありません。
⃠ 本機と Bluetooth 対応機器との互換性については、各 Bluetooth 対応機器に付属の取扱説明書を参照するか、または販売店にお問い合わせください。
⃠ 一部の国では、Bluetooth 対応機器の使用が制限されている場合があります。Bluetooth 対応機器の使用については、お住まいの各自治体にお問合せください。

テレビに光デジタル音声出力端子があるときは以下の方法でも接続可能です

⚠ この接続の時は、テレビのリモコンのボリュームコントロールがイヤホンから出る音の大きさと連動しません。

1. 〈アナログ / 光デジタル入出力切替スイッチ〉を〈SPDIF〉側にします。

2. テレビの光デジタル出力端子と送信機の〈光デジタル入力端子〉とを付属の光ケーブルで接続します。

※SPDIF IN 端子には扉が付いていますが、そのままプラグを差し込んでください。

3. 送信機に電源用ケーブルを接続します。

4. テレビの光デジタル音声出力を PCM に設定します。
※通常この接続ではテレビのスピーカーからも音が出ます。テレビのスピーカーから音を出したくないときはテレビのボリュームをさげてください。

■主な仕様

イヤホン部

Bluetooth Ver.	Ver. 5.0
防 水 規 格	IPX4
最大通信距離	10 m（見通せる場合）
バッテリー容量	3.7V/230mAh
入 力	DC 5V/ 150mA
充 電 時 間	約1.5 時間
再 生 時 間	5～6 時間
動 作 温 度	0～45℃
寸 法	約130×100×48mm
重 量	約 27g

送信機部

Bluetooth Ver.	Ver. 5.0
最大通信距離	10 m（見通せる場合）
電 源 入 力	DC 5V/1A(microUSB 入力口)
動 作 温 度	0～45℃
寸 法	約 61W × 61D × 20H mm（突起部除く）
重 量	約40g

■ご相談窓口のご案内

製品に不具合がございました場合は、不具合内容、ご購入店舗を、下記問合せ先までご連絡ください。ご注文番号がある場合は、ご注文番号もお知らせください。

お問合せ先：ティ・アール・エイ株式会社
E メール：love@cheero.jp
URL：https://cheero.net/

保 証 書

①本書は cheero 耳元スピーカー（CHS-001）のイヤホン部と送信機部の保証書です。ご使用中に生じた、音楽やその他のデータ、各種メモリーの内容などの損傷や消失といった損害を保証するものではありません。
②保証期間内に取扱説明書やその他注意書きなどに従った正常な使用状態で故障した場合には、本書をご提示または送付いただくことで、同等の製品と交換させて いただきます。
③保証の際には納品書（購入時の日付や注文番号がわかるもの）が必要となりますので、本書と一緒に保管してください。
④本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
⑤保証期間内でも次の場合には保証の対象外となります。
※使用上の誤り、改造や不当な修理による故障または損傷
※お買い上げ後の輸送、落下、衝撃などによる故障または損傷
※不適当な保管、保存による故障または損傷
※火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、煙害、などによる故障または損傷
※本書のご提示がない場合
※その他当社の責任とみなされない故障または損傷

保証期間	お買い上げ日より 1 年間
商品名	cheero 耳元スピーカー（CHS-001）
お買い上げ日	年 月 日

ティ・アール・エイ株式会社　住所：大阪市中央区北浜東 6 番 6 号